

(専門分野Ⅱ)

授業科目	小児看護学方法論Ⅱ	講師	看護師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.健康障害を持つ小児と家族に対する看護を理解する。			時間数	
				30	
				学年	
				2	
				時期	
				第1~2学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1 2	健康問題・障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護	1.健康問題・障害および入院の影響 2.健康問題・障害の受容と入院適応に向けての看護 3.快適な入院環境に向けての看護		講義	看護師
3	小児看護技術	1.コミュニケーション		講義	看護師
4 5	小児看護技術	1.フィジカルアセスメント		講義	看護師
6 7	小児看護技術	1.診療に伴う看護技術 1)輸液管理、与薬 2)呼吸管理 3)経管栄養法 4)採血・採尿 5)腰椎穿刺、骨髄穿刺 6)検査や処置を受ける小児への説明と同意		講義	看護師
8	急性期にある小児と家族への援助	1.気管支喘息の小児の看護 2.川崎病の小児の看護 3.急性胃腸炎の小児の看護 4.主な症状の看護（発熱、嘔吐、下痢、脱水、呼吸困難、けいれん）		講義	看護師
9	手術を受ける小児と家族への援助	1.手術を受ける小児の特徴 2.手術を受ける小児のこころの準備状態の把握とプレパレーション 3.日帰り手術を受ける小児と家族への援助 4.周手術期における小児と家族への		講義	看護師

		援助		
10 11	慢性期にある小児と家族への援助	<ol style="list-style-type: none"> 1.病気と共に生活している小児と家族への援助 2.安静を必要とする小児と家族への援助 3.ネフローゼ症候群の小児の看護 4.食事療法を必要とする小児と家族への援助 5.糖尿病の小児の看護 6.主な症状の看護（浮腫） 	講義	看護師
12	終末期にある小児と家族への援助	<ol style="list-style-type: none"> 1.小児の死の概念 2.小児への病気の説明 3.小児への緩和ケア 4.死を看取る家族への援助 5.白血病の小児の看護 （隔離を必要とする小児への看護を含む） 6.主な症状の看護（痛み） 	講義	看護師
13	救急処置が必要な小児と家族への援助	<ol style="list-style-type: none"> 1.主な症状の看護（痙攣、ショック、意識障害） 2.心肺蘇生法 3.異物（気道・食道）誤飲と処置 4.溺水に対する看護 5.熱傷に対する看護 6.被虐待が疑われる小児と家族への対応 	講義	看護師
14	先天的な問題を持つ小児と家族への援助	<ol style="list-style-type: none"> 1.先天異常をもつ小児と家族 2.家族の情緒的反応と援助 3.小児と家族への援助 4.先天性心疾患の小児の看護 5.口唇裂・口蓋裂の小児の看護 6.主な症状の看護（チアノーゼ） 	講義	看護師
15	評価	筆記試験		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論	